

「ぬくもりを届けたい、手から心へ」

たまちゃん通信

令和2年2月発行 120-1

発行：日本のお手玉の会本部 〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町10番1号

TEL：0897-32-0302 / FAX：0897-32-0311

e-mail:honbu@otedama.jp URL：http://www.otedama.jp

小学校でお手玉遊び そして帰国へ

北村義雄ヤップ通信』第13回



ヤップ州の中心街のコロニアのはずれにガネライ小学校があります。この学校は1年生から4年生までが通うのですが、ここでお手玉遊びをしました。2年生から4年生までの5クラスをJICA派遣のこの学校の先生と共にそれぞれの教室を巡りました。各クラスともお互いに初めての対面ですので、緊張をほぐすために指遊びをしました。次に日本の文化を知ってもらう活動の一つですのでお手玉の作り方を自家製教材を使って説明しました。4枚の布を使うこと、縫うこと、中身のこと、針と糸、そして和ばさみの使い方などです。中身は珊瑚や貝殻を入れることもできることも説明しました。次にお手玉遊びです。1個や2個を使った遊び方、2人一組でお手玉を交互に投げ合うコミュニケーション遊びなどです。次にお手玉2個ゆりの練習とその競技です。3回ほど行い最終の優勝者には賞品をあげました。次に「あんたがたどこさ」です。最初は2人でOne,Two,Threeでお互いのお手玉を渡しあう練習です。その後、私が歌う「あんたがたどこさ」の歌の「さ」で相手方に渡す練習です。ほぼそれが出来たら全員で15名程度ですのでみんなで円陣になり最初はOne,Two,Threeでとなりの人に渡し、そしてあんたがたどこさの歌に切替えとなりの人に渡すことに挑戦です。2回ほどしますと上手になり、お手玉が回るようになりました。授業時間は45分ですので、クラスにより少し内容を変えながら時間内に収めました。笑顔は共通です。遊び方の動作も日本の小学生と同様に猫つかみになったり、上で取るような動作もそっくりです。お手玉遊びは、世界共通の遊びだと確信しました。言葉は余り必要ではありません。見て真似をしてもらえればいいのです。お陰で楽しい一日を過ごすことが出来ました。



いよいよ3月下旬に任務を終えて日本に帰国します。何とか2年間の任務を終わることが出来そうです。武田様からコーナーを設けるので異国の様々な記事を提供するよう依頼があり引き受けさせていただきました。つたない文章でしたが長らくお読みいただきありがとうございました。これからも皆様方の日本お手玉の会へのご支援とご健勝で過ごされることを祈念してコーナーの最終の挨拶とさせていただきます。(日本のお手玉の会副会長)